

E-1858

0223

2150
2/15/17

十一月末迄ニヤツエントロソニューズニ宛テ發送シ了リ其後製茶工場ノ餘力ヲ以テ粗葉ヨリ磚茶ヲ製造シ居リ好成績ナリ。
製茶工場ハ本年中^{三三三}三工場其能力青葉二百五十萬疋完成、現在工場數二十、内作業中ノモノ十三工場、他ハ明三四年竣工ノ豫定ナリ。
一九三四年ノヤチャイ・グルヂヤヤ^ス製茶計畫ハ青葉七百五十萬疋及磚茶粗葉四百五十萬疋ヲ收穫スル豫定ナリトシテ
布報告申進ス

在オデッサ日本帝國領事館

2150

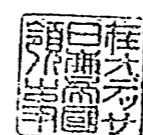
昭和八年十二月二十八日
在オデッサ
領事 田中文一
外務大臣 廣田 弘毅 殿
「シ」聯邦製茶ニ關スル件
本年ノ^{一三三}聯邦現有茶畑面積ハ三萬二千八百ヤヘクタールニシテ
殆^ト下全部後高架索ヤグルヂヤヤニ在リ。
一九三三年ヤチャイ・グルヂヤヤハ青葉ヲ昨年ノ百五十萬疋及^{後定計}オ
シ^書ノ三百萬疋ニ對シ三百二十萬疋ヲ採收シタリ。
製茶ハ^{後定計}ハ^書七十一萬四千疋ニ對シ七十二萬四千疋ヲ製造シ

在オデッサ日本帝國領事館

通商局

公第一〇號

昭和八年十二月廿九日





昭
 昭和9年3月26日
 昭
 昭和9年第12號

4.3.1.7

公	信	案																				
			報入																			
			本信送付先 農林省 茶業総合中央会 浅所																			

文書課長	文書課發送	昭和九年三月九日	建送済	浄書	正校(原稿)	浄書	別紙			
主	通商局長	任主	通商局第二課長	昭	和	九	年			
主	通二機通台	第四七五號	昭	和	九	年	貳			
主	通商局	第四七五號	昭	和	九	年	貳			
受	農林省長 瀨農務局長 茶業総合中央会 浅所 甚区 竹橋 三丁目 番地 三三									
名 人 信	事務 柳通商局長 通商局									
名 件 録 記	茶裁及取引									
名 件	蘇聯邦制衣茶三三三件 事件三三三 在 三三 田中 櫻 三三 別紙 余一通 報 告 三三 三三 三三 三三 三三 三三 三三 通									
公	信	案						外	務	省

7 66

E-1858



歐亞局

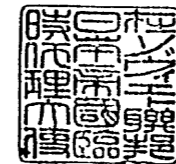


公普通第3331號

昭和九年十二月七日

在「ソウイェト」聯邦

臨時代理大使 酒 勾 秀



別紙添附

昭和九年一月七日 接受

通商局

調査部

外務大臣 廣 田 弘 毅 殿

「ソ」聯邦製茶事業ニ關シ報告ノ件

首題ノ件ニ關シ今般別紙ノ通り調査報告ス(二部)尙別ニ寫一部同封セルニ付右茶業組合中央會議所ニ御移牒相煩度シ

在ソウイェト聯邦日本大使館

「ソ」聯邦製茶事業調査書(昭和九年十一月)

茶ヲ愛用スル點ニ於テ從來露國人ハ他ノ何レノ國人ニモ讓ラスト稱セテ居ル處ナルカ革命前ノ露國ハ未タ試驗的域ヲ脱セサル僅少ナル茶園ヲ後高架索ニ有シタルニ過キス從ツテ帝政露國ハ年々五、六千萬留ノ茶ヲ主トシテ支那及印度ヨリ輸入シ之等茶市場ニ於テ露國カ最大ナル華客タリシコト周知ノ如シ然ルニ歐洲大戰ノ末期ヨリ新經濟政策ノ中頃ニ至ル約七、八年間茶ノ輸入杜絶シ國內ニ茶ノ香ヲ絶チ遂ニ種々ノ代用品ヲ用フルニ至レリ(擬物茶トシテ使用セラレタルモノ五、六種ニ上レルカ其内最モ廣ク飲用セラレタルハ「イワシ、チャイ」ト稱スル野草ナリキ)茲ニ於テ「ソ」政府ハ一九二五年頃ヨリ漸ク後高架索茶業ノ擴張ニ着手シ爾來着々新シキ茶園ヲ開キ舊園ヲ改良擴張シ本邦及印度等ヨリ茶實ヲ輸入シテ之ヲ植付ケ多數ノ製茶工場ヲ設クル等萬般ノ施設ヲナセリ其間或ハ茶栽培上ノ

在ソウイェト聯邦日本大使館

技術的ノ缺陷或ハ天候等ニヨリテ特ニ甚大ナル損害ヲ被リタルコトアルモ之ニ屈スルコトナク銳意邁進セル結果一九三〇年頃ニ至リ漸ク見ル可キ成績ヲ擧ケ將來茶ノ獨立ヲサヘ見透シ得ルニ至リタル趣ニテ一九三一年十月三十一日全露共產黨中央委員會ハ後高架索ノ黨機關ニ對シ第二次五年計畫ノ終リヲ期シ後高架索ハ全聯邦ノ需要スル茶ヲ悉ク製造供給ス可キコトヲ命シタリ之レ「ソ」聯邦ノ製茶事業史中特筆ス可キコトトス即同年ノ茶栽培面積ハ一萬九千九百「ヘクタール」ナリシカ翌年ハ新タニ一萬三千六百六十六「ヘクタール」ノ植付ケヲナシタル結果同年（即一九三二年）ノ茶栽培面積ハ一躍三萬三千六百六十六「ヘクタール」ニ大發展ヲナシ同時ニ茶園ノ「コルホズ」化ヲ強行シテ社會主義化茶園ノ基礎ヲ確立シタリ

「コルホズ」化ノ強行ニ當リテハ何處モ同様農民ノ反對ニヨリ多大ノ困難ニ遭遇シタルカ遂ニ之ヲ克服シテ目的ヲ達成シ一九三二年度末ニ於ケル茶園ノ分野ハ新聞ニヨリテ知り得タル處ニヨレハ左ノ如シ

在ソヴィエト聯邦日本大使館

後高架索「ジョーロジヤ」茶園總面積（一九三二年）

三三、〇六六「ヘクタール」	
内 譯 園 營 農 場	九、〇九〇
コルホズ農場	一九、八九二
個人農場	四、〇八四
	一三、五〇%
	六〇、〇%
	二七、五%

一九三三年ニハ茶園面積ニ於テ僅少ノ増加ヲ見三萬三千三百二十五「ヘクタール」（前年度ニ對シ百分ノ一未滿ノ増加）ト報セラレタル處本年度ニ於テ何程ノ植付反別ヲ増加シタルヤハ未タ不明ナルモ面積ノ増加ハ餘リ大ナラサルカ如シ

然レトモ生茶採取高ニアリテハ客年度ノ三、三二二「キロ」噸ニ對シ今年度六、五六〇「キロ」噸即二倍ニ激増シタリ是レ一面ニ於テ茶園稚樹ノ成長モ與リ居ルコト乍ラ茶ノ栽培法ノ改良ニ加ヘ今年ノ天候カ適順ニシテ豐作 ナリシコトカ大原因タリシニ相違ナカルヘク尙近キ將來ニ於テ更ニ收穫ヲ倍加センコトヲ豫見シ居レリ

在ソヴィエト聯邦日本大使館

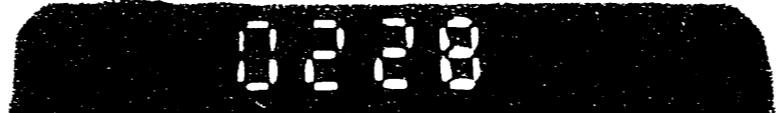


又一「ヘクタール」當リノ生茶收穫高ニ於テハ從來茶樹栽培ニ關スル技術的缺陷肥料ノ不足等ノ爲メ甚タ貧弱ニシテ僅カニ四、五百「キログラム」ニ過キサリシモノナルカ近年漸ク改良ヲ加ヘラレ「チャクワ」附近ノ試験茶園ニ於テ「ヘクタール」二千二百「キログラム」ヲ收穫シ結局一般ノ目標ヲ「ヘクタール」ニ付二千「キログラム」トスルニ至リタルカ客年ハ八百「キログラム」ニ過キス目標ニ達セサルコト遠カリシモ本年ハ千二百「キログラム」ニ進ミタル趣ナレハ餘程目標ニ近ツキ來リタル次第ナリ尙茶業當局ノ意氣込ミハ現在ノ儘栽培反別ノ増加ヲ見ストスルモ一九三八年ニハ稚樹ノ成長并ニ作柄ノ増進ニヨリ生茶ノ總收穫八萬四千三百噸以上ヲ得ルニ至ルヘク從テ現在二十一個ノ製茶工場ニ更ニ四十個ノ増設ヲ必要トシ二萬五百噸ノ製茶ヲ得ントスルニアリテ若シ右ニシテ達成セラルル曉ニ於テハ近年ノ茶輸入總額（一九三二年一五、九四九「キログラム」噸一九三三年一九、三〇七噸）ヲ超ヘ蘇聯邦ハ明カニ茶ノ自給ヲナスニ至

在ソヴィエト聯邦日本大使館

ル可シ
 蘇茶ノ產出ハ全ク後高架索ニ限ラレ（近年中央亞細亞ノ「タヂキスタン」ニ於テ僅少ノ試験栽培ヲ行ヒ居ルトノコトナルモ言フニ足ラス）其茶園頒布ノ狀態ハ別添地圖ニ示スカ如ク後高架索聯邦ノ内、
 「ジョーロジャ」共和國ニ限定セラレ其主要產地左ノ如シ
 一、「アヂヤリスタン」自治共和國 「バツーム」港ニ近キ最モ古キ茶產地ニシテ其内「チャクワ」ノ茶園ハ最モ有名ナリ同地ニハ試験茶園、製造工場等ヲ有シ高架索茶全產額ノ約四分ノ一ヲ占ム
 二、「グーリヤ」地方ノ「オツールゲトイ」市附近 「ジョーロジャ」ノ一地方ニシテ「チャクワ」ノ西方ニ在リ近年著シク發展シテ其產額「チャクワ」地方ヲ凌カントス
 又近年製茶事業カ蘇聯經濟ニ於テ漸ク重要性顯著トナレルニ從ヒ本春「オツールゲトイ」市ニ於テ茶研究ノ爲メ特別「インスチチ

在ソヴィエト聯邦日本大使館



ユーシヨン」ヲ設立セリ

三、「アブハージャ」自治共和國 黒海ニ沿ヒタル西部地方ニシテ「スフォーム」ハ其首都ナルカ茶ノ産出ハ主トシテ「オチエムチールイ」及「ガリー」地方ニシテ其産額ハ殆ント「アヂヤリスタン」ト伯仲ノ間ニアリ

四、「ズーグヂーヂ」及「ホーニ」地方 「オズールゲトイ」ト「アブハージャ」トノ中間ニ挾マレタル地方ニシテ主トシテ此兩都邑ノ附近ニ於テ産出ス

右四個地方以外ニモ新地方トシテ多少産出ナキニアラサルモ餘リ著シキモノナシ

以上述ヘタル蘇聯ノ製茶事業ヲ數字ニテ表示スル時ハ左ノ如シ

ジョールジャ茶園全面積	一九三二年	一九三三年	一九三四年
	三、〇六六	三、三二五	三、五〇〇
生茶ノ收穫	一、五〇〇噸	三、一六六	六、五六〇

在ソヴェエト聯邦日本大使館

製茶數量	三八五噸	七四八	一、四八〇
製茶工場數		一五個	二一
製茶機械製造工場數			一個

前表製茶工場二十一個ノ散布状態ノ詳細ニ關シテハ調査未了ナルカ概シテ前記茶ノ産地ニ準シテ建設セラレ居リ從ツテ「チャクワ」「ガリー」及「オヅールケトイ」等ニ最モ多ク建設セラレ居レリ是等諸工場ハ何レモ三年乃至二年位前ノ建築ニシテ中ニハ本年竣工セルモノモアリ最新式ノ技術ヲ應用シ居ルコト言フ迄モナク又本年秋ニハ「バツーム」ヨリ五軒ノ地點ニ於テ製茶機械製造ヲ専門トスル一大工場ノ建設竣工セリ但シ内部装置ヲ完成シ作業ヲ開始スルハ一九三五年夏トナリ居レリ

製茶事業ニ關スル凡ユル企畫ハ悉ク「トラスト」ノ形體ヲ取レル國營機關「チャイグルヂヤ」ノ所管ニ屬ス即國營茶園ノ經營ハ云フニ

在ソヴェエト聯邦日本大使館



及ハス工場、試験場及「インスチチューション」等皆「チャイグルヂャ」ニ直屬セリ之ヲ換言スレハ「チャイグルヂャ」ハ原料ノ生産ヨリ其製造工業ニ至ル迄悉ク之ヲ管轄ス
 以上ノ如ク「ソ」聯ノ製茶事業ノ發展ト反比例シテ茶ノ輸入カ年々漸減シ居ルコトハ注目ニ値ス可ク今最近七年間茶輸入ノ金額ヲ對比スレハ左ノ如シ

一九二七—二八年	三六九五九〇〇〇留
一九二九	二八八一〇〇〇〇
一九三〇	二〇六一〇〇〇〇
一九三一	一三六三三〇〇〇
一九三二	七七五二〇〇〇
一九三三	五七六四〇〇〇
一九三四（八ヶ月間）	四四五七〇〇〇

即例外ナク逐年減少ヲ示シ七年間ニ於テ八分ノ一ニ減シタリ此傾向

在ソヴィエト聯邦日本大使館

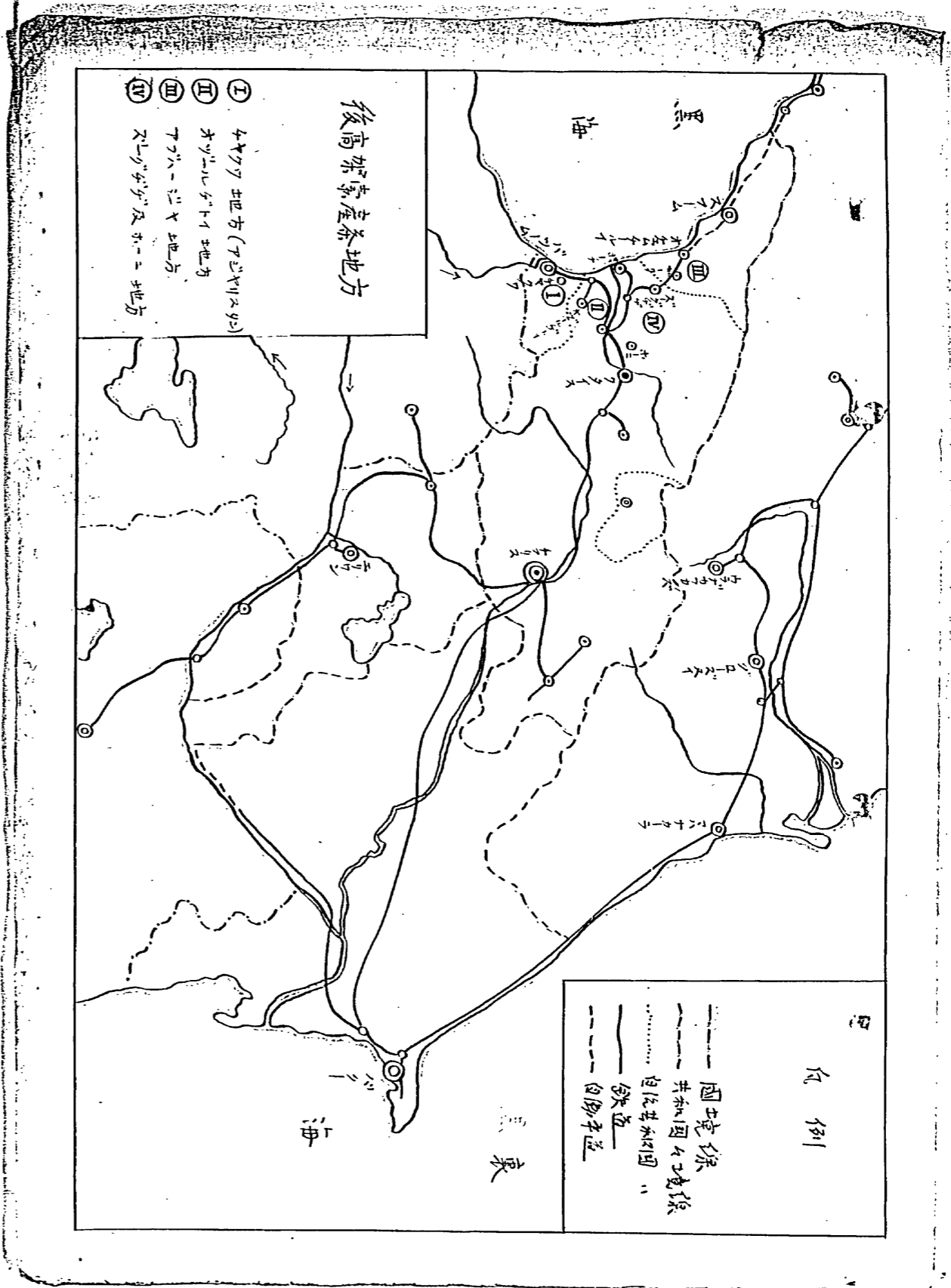
ヲ以テ進ム時ハ遠カラサル將來ニ於テ「ソ」聯邦輸出入統計表ヨリ茶ノ輸入カ消へ去ルコトハ最早豫想ニ難カラサル所ナリ左レハ日蘇貿易ニ於テ我對蘇輸出品中比較的持久性ヲ有スルモノトセラレタル唯一ノ綠茶モ賣込ノ可能性漸次減少シ行クニアラスヤト觀測セサルヲ得ス

右ニ關シ十一月二十七日「ブラウダ」ハ「蘇製茶工業ノ確立」ト題スル論說ヲ掲ケタルカ其論旨ハ蘇聯邦ノ富源ハ殆ント數ヘ竭クセサル所ナルカ其中ニ於テ製茶事業ノ如キモ其一ニシテ今ヤ其面目ヲ一新シ帝政時代ニ於テ年額六千二百萬留ノ輸入ヲナシタル外國茶ノ輸入ヲ廢シ國產茶ヲ以テ之ニ代ヘントスルコト近キ將來ニ於テ約束セラレ蘇聯邦ニ於ケル製茶事業ノ意義漸ク重大トナレリ又茶ノ種子作成設備ノ完成ニヨリ昔日ノ如ク錫蘭、印度等ヨリ種子ノ輸入ヲ要セサルニ至レリ之ヲ要スルニ茶ノ栽培、品質ノ向上其他各種ノ困難就中「コルホズ」農民ノ反抗氣分等々凡テ之等ノ困難ヲ根本的ニ征服

在ソヴィエト聯邦日本大使館

シ今日ニ於テハ「コルホズ」ニ於テモ其經濟及文化生活ニ於テ茶カ
基本的重大意義ヲナシ農民モ其收益多キニ満足スルニ至レルカ如斯
シテ豫定以上ノ成績ヲ擧ケ蘇茶獨立第一段ノ成功ヲ收メタリ云々ト
云フニアリ
右報告ス

在ソヴィエト聯邦日本大使館



E-1858

0232

文書課長

文書課發送

昭和拾年壹月廿二日發

淨書

正校(原稿) (淨書)

主 歐亞局長

主 第一課

昭和十年

一月十五日起草

歐一普

第二九一號

昭和拾年壹月廿二日附 附屬

別紙

通二
D.1.24
受付

通商

村賴

東郷 歐亞局長

名 農林省 農務局長
芝区新橋三三
茶業組合中央會議所會談
中村 岡

名 件 録 記
茶業組合中央會議所
中村 岡

名 件 聯邦製茶事業之報告ノ件

本件ニ關シ今般在ハ聯邦製茶事業ノ報告ノ件ニ
付爲御參考右茲ニ送付ス
農林省
本信送付先 商工省 茶業組合中央會議所
(昭和九年十二月七日附在ニテハ一館來(往)機第三三〇號寫前附屬書宛)

要寫部

公 信 案

附屬

務 省

通商局

通商三課

昭和拾年壹月五日 接受

公第 三六號

別紙二通添付

昭和十年二月十二日

在英

大使館商務參事官松山晋二郎

外務大臣 廣田弘毅 殿

報告書提出ノ件

左記ノ件ニ關スル報告書別紙提出ス

茶、蘇聯邦費込助成融資會社計畫中止ノ件

寫送付先

商工大臣

在英大使

在倫敦日本商務參事官事務所

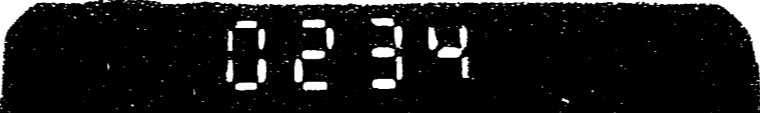
後海經濟事情

茶ノ蘇聯邦賣込ヲ助成スル
 融資會社計画中止
 茶ノ蘇聯邦賣込ソ助成スル目的ガ一、融資會
 社ヲ組織シ露国政府ノ要望スル「クレカット」
 ノ賦與ニ便ナラシメントスル計画ガ國際茶委員
 ニヨリテ提唱セラレ市場ノ注目ヲ惹キツツアツ
 タコトハ既報ノ通りニシテ其後談計画ハ順調進
 捗ヲ傳ヘラレテ居タニモ拘ハラズ今般報セラル
 ン所ニ據ルト國際茶業團ノ議マトマラス遂ニ一
 時中止ノ已ムナキニ至ツ又由テ「ル」充テ所路至

在倫敦大使館商務參事官事務所

内茶ノ消費ハ該計画挫折ノタメニ現在以下ニ減
 退スルト云フ訳ハナイカラソシガ直接茶ノ市
 場ニ不良材料トナワテ働ラク原因トハ成ラヌカ
 天知レヌカ現下新葉ノ不振時代ニ當ツテ消費増
 進ノ見込多キ露国市場ニ對スル發展計画ヲ中止
 シタノハ遺憾ナルト評スル向カ多イ
 新年ニ入ツテカラノ茶ノ市況ハ「ミンシングレ
 ー」ノ競争ヲ通シテ見テモ頗ル緩慢ト云フ外
 ハナイ、即チ一月中旬、競争力ハ平均一封度一
 一ハニ序ヲ示シテ居ルガ其ノ前週ハ一一・五八

在倫敦大使館商務參事官事務所

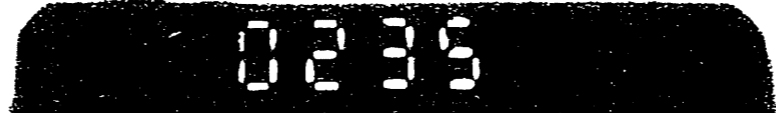


片、十二月、最終競賣、ハ一、六一、ウ、ト、成、ワ、テ
 居リ、全体、ソ、通、シ、テ、見、テ、俾、惱、ム、ノ、状、ヲ、呈、シ、テ、居、ル
 丁度、今日、ヨリ、一、年、前、ノ、平均、相場、ハ、一、志、三、一、二、片
 テ、ア、ウ、タ、カ、ラ、裁、培、者、例、カ、ラ、見、夕、此、一、年、間、ノ、市場
 ハ、更、々、悪、化、シ、タ、ト、云、ハ、不、バ、ナ、ラ、ヌ、近、年、ノ、大、衆
 購買、力、疲、弊、ノ、余、波、ト、シ、テ、茶、ノ、需要、ハ、品、質、カ、ラ、云
 ハ、バ、低、級、品、ノ、値、段、ヲ、ラ、云、ハ、バ、安、價、包、装、ノ、モノ、ニ
 集、中、サ、シ、夕、形、ア、ウ、ワ、テ、之、ガ、市場、軟、勢、ノ、主、要、原因
 ヲ、方、シ、テ、居、リ、裁、培、業者、ノ、採、算、ヲ、不、利、ト、ナ、シ、メ、テ
 居、ル、ノ、テ、ア、ル、ガ、取、扱、業者、ニ、シ、テ、見、レ、バ、現、在、ノ、如

在倫敦大使館商務參事官事務所

キ、環境、ニ、於、テ、低、級、品、ノ、値、上、ケ、テ、行、フ、ト、云、フ、ヤ、ウ
 ナ、コ、ト、ハ、消費、減、退、ヲ、道、キ、ク、コ、ト、ハ、ア、ル、ニ、セ、ヨ、到底
 市場、挽回、ノ、途、ヲ、得、ナ、イ、ヲ、ド、ハ、明、ラ、カ、デ、ア、ル、ノ
 テ、市、價、ノ、釣、上、ケ、ト、云、フ、ガ、如、キ、コ、ト、ハ、問題、ト、サ、レ
 ナ、イ、一、斯、ク、見、来、タル、ト、際、産、協、定、ニ、於、テ、生産、方
 面、ニ、難、重、策、ヲ、講、ジ、ソ、ウ、アル、斯、業、今、後、ノ、苦、境、打開
 ハ、一、ニ、消費、ノ、増、進、ニ、懸、テ、居、ル、ト、云、フ、ア、キ、シ、ア、ル
 ガ、其、ノ、意味、ニ、於、テ、前、記、對、露、融、資、計、画、ノ、進展、ハ、多
 大、ノ、興味、ヲ、以、テ、注、視、セ、ラ、レ、テ、未、ダ、モ、ノ、ア、ル、一、
 今回、ノ、計、画、中、止、カ、多、大、ノ、失望、ヲ、與、ヘ、タ、所以、モ、其

在倫敦大使館商務參事官事務所

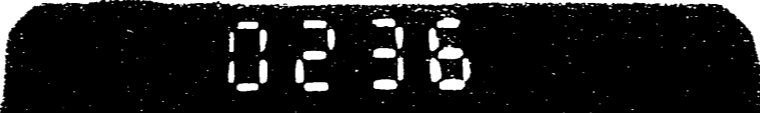


処ニ在レ、保シナカラ露ハ依然トシテ重要ナ
 ル茶ノ消費國タルコトハ該融資計画ノ成否ニ拘
 ハラス誰モカ認メル事實デアリ露國ガ従来ノ
 公関市場ヲ通ジテ従前通りノ取引方法ニ據テ茶
 ノ仕入ソカステアラウトハ更リハナイテアラ
 ウケレドモ露國政府ノ貿易政策ヨリ見テ露國政府
 ガ茶ノ輸入ニヨリ融資關係ヲ顧慮シテ之ヲ調節
 スルテアラウトハ想像出来ル、市場傳フル所
 ニ據レハ露國政府ハ這般ノ融資計画ニ想定サレ
 タリケレバツトノ条件ヨリ更ニ有利ナル条件

在倫敦大使館商務參事官事務所

テ現ニ茶ノ買付ヲ行ヒテ居ル由デアルガ若シ然
 リトスレバ該計画ヲ遂行スルタメニハ國際栽培
 者ガ一層有利ナル条件ヲ以テ要求ムコトニ決意
 セスハナラスノハ当然デアラフ關係者ガ
 昨年十二月末倫敦保稅倉庫ノ「ストック」ハ
 三〇三、二五〇、〇〇〇封度ト云フ数量ニ達シ
 テ居リ而モ近キ將來ニ栽培者側ノ待望スルガ如
 キ市價好轉ノ見込ハ先ツ無イノデアルカラ前途
 ハ寧ロ悲觀的ナラシ、現在ノ國際茶制限協定ハ
 一九三三年四月一日ヨリ実施セラレ最初ノ一年

在倫敦大使館商務參事官事務所



ハ基準量ノ八五%ニ制限ヲ行ヒ第二年ハ二・五%増シノ八七・五%トシタカ国際茶市場ノ実勢ニ鑑ク第三年ハ五%ヲ減ジハ二・五%ニ減少シタルニモ拘ハラズ制限協定外ノ国ノ昨年輸出増加ハ協定外ノ生産基準量ノ約三%ニ達スルヲアラウト見ラレテ居ルガ斯ノ如ク制限外ノ国カラノ生産高が増加シテ行クトスレバ市場挽回ノ前途ハ益々困難ヲ加ヘルノテハナイカト見ラレル。即チ限産協定国タル英領印度、錫蘭、及蘭領東印度度ノ一九三三—一九三四年ノ輸出数量ハ六八

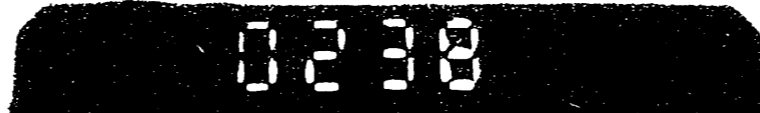
在倫敦大使館商務參事官事務所

〇、〇〇〇、〇〇〇 封度テアルカ制限協定実施ニヨル市場ノ騰勢ニ乘ジ制限外諸国生産高ハ一九三三—三三年一三四、〇〇〇、〇〇〇 封度ヨリ一九三三—三四年ハ一四三、〇〇〇、〇〇〇 封度ニ進シタ、此生産高タル數ニ於テハ蓋程驚クベキモノテハナイケレドモ現在ノ屯界生産カ過剩ヲ訴ヘソレガ故ニ現在ノ限産協定ノ成立ヲ促ガサシタノテアルト云フ事態ニ就テハ決シテ輕視スベキ問題トイハレハシル、制限外諸国ノ生産高取テ市場ノ位置ヲ差イテ居ルハ支那、本

在倫敦大使館商務參事官事務所

邦	及	台	灣	ノ	テ	ア	ル	カ	中	南	邦	及	台	灣	ノ	茶	ノ	増	産
ニ	カ	リ	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産	産
ト	云	ク	ヤ	ウ	ナ	情	報	モ	和	商	筋	カ	ラ	傳	ワ	テ	居	テ	居
テ	報	ル	レ	居	ル	右	ノ	情	報	ニ	據	シ	バ	一	九	三	四	年	此
支	那	ノ	南	邦	及	台	灣	ヨ	リ	ノ	輸	出	ハ	一	九	三	三	年	此
シ	馬	子	三	百	万	斤	對	度	ノ	増	加	シ	之	カ	大	体	前	比	制
定	基	算	量	ノ	三	〇	〇	〇	ト	云	フ	譯	テ	中	外	ノ	開	係	國
重	視	ス	ル	所	ト	ナ	ク	云	居	ル	所	ナ	ラ	レ	也				

在倫敦大使館商務參事官事務所



E.Y. 3. 1. 7

加
投海外経理部事務

公文書案	今般更(在)英新山商社為るの由 ヨリ本紙ノ通報告アリタル	本件ニ關シ(暗種)年月日附通三密(合)第 號ヲ以テ申進置タル處	名件 茶ノ其舞舞賣込由生融資會社計画中止件	名 茶ノ其舞舞賣込由生融資會社計画中止件	人 其區新橋二丁目二番	信 通商局	受 茶業組合中央會後所	通 三 密 第 四 三 四 號	主 通商局長 任主 第三課長	文書課長	文書課發達 昭和拾年參月七日 發送済	淨書	正校(原稿)	昭和十年三月五日 かひ
										別紙	昭 和 十 年 三 月 五 日 起 草			

6 130

E-1858

0239

EX. 3. 1. 7

投函外証事務

公文書案	今般更色在 英新山商社 為るの旨 ヨリ別本誌 寫ノ通報 アリタル	本件ニ關シ(暗種) 年 月 日 附通三普通(含)第 號ヲ以テ申進置タヤ處	件名 茶ノ料料賣込 出米 融資 會社 計畫 中止 件	信人 茶業組合 中 朱 慶 所 芝 田 新 橋 三 丁 目 二 一 三	發信人 通商局	記録 本信照合票挿入先 2 2 1 1 1 1	主 通商局長 任主 第三課長	主 通商局長 任主 第三課長	文書課發送 昭和拾年三月七日 發送済	文書課長
				通三普通 第四二四號 昭和拾年三月六日 日附 附屬 有	淨書 昭和十年三月五日 日起草 か	正校(原稿) 別紙	6 130			

E-1858

0240

ニ付爲御参考右茲ニ送付ス

本信送付先

(昭和十年二月十五日附在 其 來信 第三三〇號) 並附屬書寫其條正通ノ作成添付ノコト

着 杉田 好吉

公 信 案

外 務 省

E-1858

0241

調査第三課

通商局
第一課

字送付
ス

分類

歐亞局

商普通第三一九號

昭和十一年八月十六日

在「ソヴェエト」聯邦

臨時代理大使 酒 勾



昭和十二年九月八日 接受

(赤印紙)

外務大臣 有 田 八 郎 殿

「ソ」聯邦ニ於ケル「バラグアイ」國產茶
樹栽培ニ關スル件

「ソ」聯邦當局ノ發表ニ依レハ「ソ」聯邦亞熱帶栽培中央局ハ今般
試験的栽培ノ目的ヲ以テ「バラグワイ」國產茶樹及全種子ヲ購入セ
ル處有ハ既ニ到着セルニ付近ク高架索「ソーチ」及「バツーム」地

(赤印紙)

方ニ於テ之カ試培ヲ行フ趣ナリ
右報告ス

通商局
第一課

調査部

分類 E4.3.1.1

歐亞局

商普通第三二一號

昭和十一年八月十六日

在「ソグイエト」聯邦

臨時代理大使 酒 勾



外務大臣 有田 八郎 殿

「ソ」聯邦ノ茶業ニ關スル件
今般「ソ」聯邦當局ハ本年ノ全國茶業發展狀況ニ關シ公表スル處アリタルニ付右左ノ通報告ス

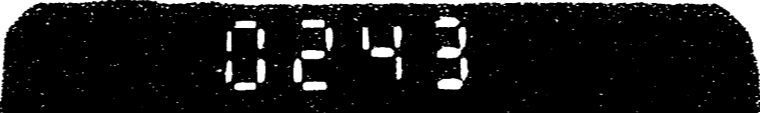
在ソグイエト聯邦日本大使館

昭和十一年九月八日 接受

手書: 裁培ニ於テ...

本年度ニ於ケル「ソ」聯邦ノ茶葉收穫豫定高ハ一萬九千二百五十噸ナル)カ右ハ現在十四個ノ國營農場及六百餘個ノ共同農場ニ於テ栽培セラレ居リ其ノ面積二十一萬「エーカー」ニ達シ主トシテ高架索「ジオルジャ」地方ニ於テ栽培セラル、「ソ」聯邦ニ於ケル茶業ハ最近數年間ニ急速ナル發展狀況ヲ示セリ即「ジオルジャ」地方茶園ニ於ケル茶葉收穫高ハ自一九二九年至一九三二年ノ全期間ヲ通シ五、二九三噸ニ過キサリシカ一九三三年ハ三、一五九噸、客年ハ一、六七七噸トナリ又本年ハ前掲ノ通り客年ニ比シ約七、〇〇〇噸ノ増産豫定セラレ居ル次第ナリ
一「エーカー」ニ對スル茶葉收穫高ノ増加シ居ル傾向ハ斯業進步ノ證左ト見ルヘク即一九三二年ニ於ケル「エーカー」當リノ茶葉收穫ハ平均五〇〇噸ナリシカ客年ニ於テハ平均六〇〇噸ニ達セリ
現在製茶ハ三十一個ノ製茶工場(印度及「セイロン」ニ於ケル最良設備工場ニ比シ遜色ナシ)ニ於テ行ハレ居レルカ客年ノ精茶生産額

在ソグイエト聯邦日本大使館



ハ二、三九〇噸ニシテ本年ノ全生産豫定額ハ四、五九〇噸ナリ

在ソヴィエト聯邦日本大使館

E-1858

0244

電信課長



大臣
次官



東亞
歐亞
米洲
通商



條約
情報
文化
調查
人事
儀典
文書
會計
秘書官

寫送先

分類 E.Y. 3. 1. 7

昭和13

三四〇九四

略

莫斯科
本省

十一月十九日

後發
二十日前着

通、歐

有田外務大臣

東郷大使

第一七九九號

十七日「ソヴィエトスカヤ、トルゴウリヤ」紙ニ依レハ蘇聯本年度
茶葉取入高ハ客年ニ比シ八千噸多ク製茶工場ニ供給スヘキ茶葉總量
ハ三萬五千噸ナリ

因ニ蘇側統計ニ依レハ本年一月以降八箇月間ニ蘇カ輸入セル各種茶
ノ總額ハ二千百十二萬六千留（一留ハ邦貨約六十八錢ニ該當）、數
量九、一八七噸ニシテ其ノ内紅茶ハ印度六百三十六萬八千留、瓜哇
六百二十二萬九千留、錫蘭二百七十四萬一千留、支那二百五十一萬
七千留、綠茶ハ日本二百三十萬留、支那十五萬五千留ナリ（了）

外務省

件名

蘇聯茶葉取入高ノ事